

平成28年

目黒区教育委員会

第22回定例会会議録

(平成28年6月7日開催)

第22回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成28年6月7日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会委員長	小村 恵子
	教育委員会委員長職務代理者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	木村 肇
	教育委員会教育長	尾崎 富雄

出席職員	教育次長	関根 義孝
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	増田 武
	学校運営課長	佐藤 欣哉
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	和田 孝
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	濱下 正樹
	八雲中央図書館長	大迫 忠義

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

日程第1 報告事項 平成28年度児童生徒数・学級数について

資料配布

- ・特別支援教育講演会「就学相談で大切にしたいこと～自立と社会参加に向けて、いきいきと学ぶために～」
- ・特別支援学級・特別支援教室のご案内

(午前9時開会)

- 委員長 第22回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は木村委員です。  
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 平成28年度児童生徒数・学級数について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 委員長 この件についてご質問等ございますか。
- 委員 全体の概要については、最終的に数字が確定したということですが、すけれども、今回、特に小学校は290人、10学級増えるということは、当初の東京都の教育人口推計を基にした中でも、ここまで推定しきれていなかったと思うのです。社会の動きが都心回帰、特に中心区を中心に増えてきている様子があります。今後、次年度以降の推移の推定は難しいとは思いますが、東京都の教育人口推計から見ても、既に数校は普通教室可能数を超えるということ、特別教室等の転用による対応をしていくこととなります。ここ2年だけを見ても学級数の増加に伴って、工事をしています。  
単年度の数字だけを見るのではなくて、ある程度先を見ながら、中長期的視点から、学級増に対するハード面の整備が遅れをとらないように留意していただきたいと思います。
- 説明員 ただいまのご要望は重く受けとめさせていただきます。
- 説明員 資料2ページの特別支援学級ですが、こちらの数字はいずれも5月10日にご報告いたしました4月7日現在の数字と変わっておりません。ただし、前回資料に間違いがございまして、5ページの一番下の小学校特別支援教室の東山(北部ブロック)というところがございますが、ここが、本日お配りいたしました資料は25人となっておりますが、前回お配りしたものは27人となっておりますので、訂正させていただきます。
- 委員 上目黒小学校ですが、1年生から6年生まで見ると、2年生が少なく、1年生がまた増えている。これはまだ楽観的すぎるかもしれませんが、減少傾向に歯どめがうまくかかったと見ていいのでしょうか。
- 説明員 ご質疑の点につきましては、指定校区内の新1年生の学齢のお

子さんが増えた経緯がございます。

本日の資料で申しますと、6ページ目が隣接学校希望入学制度との関係で26年と27年の10月1日の住民登録者数を集計したものです。上目黒小学校については、26年10月の住民登録者数は49人でしたが、27年10月は70人ということで、20人余の増となり、結果として新1年生も多くなったということです。

ただ、この20人余の純増でも新1年生の入学率は、ほぼ横ばいですし、隣接希望の結果の出入りのマイナスも減っている状況ではないので、決して楽観はできないという認識で、状況を注視してまいります。

○委員 特別支援学級と通常学級との境ですが、どういう形で分けられていて、問題は今のところ起きていないのでしょうか。

○説明員 通常の学級と特別支援学級の境目は、例年行われます就学先の決定をする中で、就学相談、それから就学指導委員会の意見をもとにしまして、まず保護者側に就学先をご提示し、その際に保護者側からのご意向、ご希望が出されまして、そちらを可能な限り尊重いたしまして、決定しているという状況でございます。

そこで、特別支援学級をご提示した多くの保護者の皆様は特別支援学級を希望されているという状況でございますが、数例、通常の学級を希望され、入学されるということもございます。

そういった場合には、特別支援教育支援員などを配置いたしまして、通常の学級での学習面や生活面に支障のないように手配をしているという状況でございます。

○委員 先ほどの説明の中で、中学校の在籍率が下がったということに関して、中学校の魅力づくりを強化するという話がありました。

これは残念な数字が出ているという感じがしていますが、魅力づくりというものは、PDCAというような形での進め方がなかなか形になりにくいという問題ではないかという認識をしております。

そういう意味でも、中学校の28年度の在籍率が55%を割ったという現実を重く受けとめ、29年度、それから30年度に向けて、在籍率を上げるための具体策が見えるような形で提示し、目黒区の中学校全体で、統一した方向性を持つ必要があるという感じがします。

先日の学校経営方針のプレゼンテーションで、小学校の校長先

生方が、区内の中学校への進学を増やすための相談をしたいというような話を述べておられたと思うので、そういう小中連携も含めて、もう少し具体的な魅力づくりの施策を提示して、我々もその方向で動くというような方向をぜひとっていただきたいと思います。

○説明員 中学校の魅力づくりについてのご質疑でございますけれども、先般、昨年度になりますけれども、魅力ある中学校づくりに向けてということで、めぐろ学校教育プランの推進委員会としての内部資料もつくらせていただいたところでは。

今後、めぐろ学校教育プランの改定作業にも入りますが、プランの改定の進め方のときにもご説明させていただきましたけれども、なるべく実効性のあるプランにしていきたいと思います。中学校の魅力づくりに向けた取組についても、例えば年度ごとの教育行政運営方針の中に入れるのか、あるいは学校ごとの取り組みの中に何らかの形で取り込むのか、いずれにいたしましても中学校の魅力づくりも含め、まずは学校教育プランの改定に取り組んでいきたいと考えているところでございます。

○委員長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですので、この報告を受けました。

資料配布 ・特別支援教育講演会「就学相談で大切にしたいこと～自立と社会参加に向けて、いきいきと学ぶために～」  
・特別支援学級・特別支援教室のご案内

○委員長 以上で、本日の定例会を閉会します。

(午前9時22分閉会)